

# 1. 調査報告概要表

作成日平成20年 6月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0170502470
法人名	医療法人社団高台病院
事業所名	グループホームはしどい
所在地 (電話番号)	北海道札幌市豊平区美園3条8丁目4-5 (電話) 011-831-2181
評価機関名	特定非営利活動法人 アイケア・ネット
所在地	札幌市中央区南2条東1丁目1番地12
訪問調査日	平成20年 4月25日

## 【情報提供票より】(平成20年 3月24日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成16年 1月20日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算	10.4人

### (2) 建物概要

建物形態	併設型	新築
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	3階建ての	2階 ~ 3階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	60,000 円	
敷金	有(家賃の1ヶ月分)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	180 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(3月24日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	9 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 80 歳	最低	63 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団高台病院, 松坂皮膚科, 医療法人サンプラザ新札幌循環器病院
---------	--------------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

施設内が明るく清潔感があり、とても過ごしやすい環境となっている。居間も採光がよく、利用者が居心地良く過ごせるよう配慮がなされている。  
利用者の希望を取り入れながら、カロリーや栄養バランスに配慮して栄養士が献立を作成している。きざみ食や食べやすく一口大に切った食材も見たくて楽しく食事ができるような形を整えるなど配慮がなされている。  
「家族のように接する」という理念を常に念頭において、管理者や職員が利用者支援を行っていることで、利用者や家族が安心して暮らせる環境作りとなり、安定したサービスの提供となっている。医療機関が母体となっていることで、医療面での安心にも繋がっていると思われる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善点と取り組みは、感染症等各種マニュアルの綴り方を見やすくするよう工夫されている。職員が受けた研修を報告する仕組みがとられ研修内容が他職員とも共有されるようになってきている。運営推進会議等を利用して介護に関する知識や情報を地域住民に還元したり、町内会との交流を深めている。ホームへの案内板の設置は現在も検討中である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者と職員が全員で自己評価にかかわり、積極的な取り組みが行われており、更なるサービスの質の向上に向けた取り組みが行われている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は定期的開催されている。議題にはグループホームにおいて利用者に行われるサービス内容や年間行事等の説明が行われ、家族からの要望・意見等があり、要望等を反映した行事内容に活かされている。又、家族や地域住民に対して、介護保険制度についてや救急蘇生法などの介護に関する知識や情報提供の場ともなっており、ホームでのサービスの質の向上に繋がるよう取り組みがなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月、利用者の状況報告をするおたよりを写真を同封して家族へ発行している。現状では、利用者への対応方法などにおいて家族が満足している様子がみられるが、更なるサービスの質の向上を目指して、運営推進会議を活用する等家族が意見や要望を述べ、その意見や要望への対応を報告する機会を設けていくことが望まれます。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	買い物は近隣にあるスーパーやお米屋さんを利用する等の日常的な関わりとともに、地域行事に参加することで地域との交流を深めているが、ホームの避難訓練に近隣住民に参加してもらおう等、日々近隣住民がホームを訪れるような積極的な関わりを期待します。運営推進会議において地域からの様々な提案や協力をしてもらって連携を深めることが望まれます。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の運営理念を掲げ、利用者が「新しいわが家」として、地域でその人らしく過ごしていくための支援が行われている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に理念が掲示してあることやネームプレートに理念が記載してあることで、管理者と職員が、常に理念を意識した支援への取り組みが行われている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者が地域のスーパーで買い物をしたり、銭湯を利用したり、地域の行事に参加することで地域との交流を積極的に図っている。又、運営推進会議も地域とのつながりを深めることにつながっている。		今後も地域との交流を積極的に行っていくことを期待します。又、ボランティアなど社会資源を活用することも期待されます。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義を理解し、全員で自己評価への取り組みが行われることで「気づき」につながっている。改善事項も全員で検討し、更なる改善に向けた取り組みが行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的な運営推進会議の開催が行われている。運営推進会議では、年間行事等のホームの案内のほかにも、介護保険制度や救急に関する知識などを、地域住民に対する情報提供の場ともなっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市町村とは必要に応じて情報交換を行い、サービスの質の向上への取り組みが行われている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族の面会時に利用者の詳細な近況報告を行うとともに、定期的に発行する「はしどい便り」や写真を同封した毎月の手紙で利用者の生活状況を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情の受付窓口を明らかにしている。又、話しやすい雰囲気作りをしている。家族からの意見や要望があった場合は、臨時会議を開催し、運営に反映するよう取り組みが行われている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>常に2階3階合同での行事や活動を行っているので、利用者と職員の馴染みの関係ができていく。又、異動や離職がある場合も、利用者への影響を防ぐよう配慮がなされている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が外部の研修を受けることができるよう体制がとられている。看護師による職員への研修も行われている。又、研修内容は出席できなかった職員とも共有できるよう取り組みが行なわれている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者会議や外部研修等で地域の同業者と交流の機会を多く持ち、ネットワーク作りに取り組んでいる。		相互訪問を行うなど、地域の同業者とのネットワーク作りを強化し、様々な福祉的関わりを持つことで、更なるサービスの向上に努めることを期待する。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居する前には本人と家族等が見学し、納得した上で入居している。体験入居を行ったり、利用者や家族からそれまでの生活環境を確認し、早く馴染んで生活ができるよう支援が行われている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を尊重し日常生活の支援を行っている。日常的に利用者が自分の役割をもち生活することで、共に支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の日々の状況は24時間生活シートを活用しており、利用者の自己決定を大切に、個々のニーズに対応できるよう支援が行なわれている。</p>		<p>利用者の日々の状況が24時間シートに記載されているが、利用者の動向の「なぜ」を理解し、利用者の思いの把握につなげていくことが期待されます。</p>
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者がよりよい暮らしが送れるよう、利用者の日々の生活状況が記載されており、全員で介護計画の作成に取り組み、利用者や家族の要望を受けて介護計画の作成が行われている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な介護計画の見直しをするとともに、必要に応じた介護計画の見直しが行われている。介護計画の見直しの際には、日々記載している個別支援ノートや生活記録に記載してある気づきや日常の会話の中から発現する要望を参考にして作成されている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状態や状況に応じた支援が行われている。今後、ショートステイ等への取り組みも検討されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>母体が病院であることもあり、かかりつけ医との連携がスムーズに行われている。職員として看護師が勤務しており、医療機関との連絡調整をスムーズに行うことにつながっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>契約時にホームが対応できる利用者の状態を説明し、承諾を得ている。必要時には家族や医療機関と相談をし、利用者にとって良い状況を検討し、支援が行われている。</p>		<p>現在は、終末期への対応できていないが、利用者や家族、かかりつけ医等関係者の意向を統一し、利用者にとって良い対応が取れるよう更なる話し合いがなされていくことが望まれる。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>職員は個人情報の取り扱い方を理解しており、個人名ではなく居室名を利用した記録への記載が行われている。又、日々の利用者への対応も一人一人の尊厳に配慮し、支援が行われている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者一人一人が個々の希望やペースに合わせた生活が送れるよう支援している。利用者が選択することができるような状況作りを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューに利用者の意見を取り入れたり、買い物や準備、後片付けを利用者に一緒に行なってもらうことで、楽しんで食事ができるよう支援が行なわれている。又、利用者の状況に応じた食事提供がなされるときも、目で見てもおいしい食事の提供がなされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の希望に沿い、一人ひとりのペースに合わせて入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりののできることを把握した上で、役割やレクリエーションの支援を行っている。ホーム内だけで過ごすことがないよう、近所の公園で花見をする等、季節を感じ、気晴らしができるよう支援が行なわれている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣に買い物に行ったり、散歩に行ったり、利用者個別の外出支援が行われている。又、家族との外出ができるよう支援が行なわれている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関等の出入り口にセンサーをつけたり、利用者の動向を察知できるようなケアが行われることで、鍵をかけない支援への取り組みが行なわれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
丸	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の定期的な防災訓練が行なわれている。消防署の協力を得て、心肺蘇生法やAEDの使用手順等の訓練が行なわれている。		職員全員への避難方法や避難場所の周知徹底が望まれる。地域住民の理解と協力を得た避難訓練等が行われることに期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の希望を取り入れ、栄養士がカロリーや栄養バランスに配慮した献立が作成されている。ケアチェック表に記載することで、水分量や摂取量を把握している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間は明るく過ごしやすい空間となっている。共有空間には、季節の飾り付けや利用者の写真を飾る等、居心地よく過ごせるような工夫がなされている。日中は利用者が居間に集まり寛いでいる。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	温湿度や換気に配慮し快適に過ごせるよう支援が行われている。居室には使い慣れたものや利用者が好むものを置き、わが家として安心して過ごしていけるよう配慮がなされている。		

 は、重点項目。